

慶應義塾大学ビジネス・スクール

起業家の素顔—ショート・ケース集 (A) —起業家が自らを語る—

はじめに

10

経済成長、雇用創出、社会経済の変革のために起業活動が重要な役割を果たすことを世界中が認識するようになっていることは、毎年行われている Global Entrepreneurship Monitor という国際比較調査の参加国が年を追って増加していることからもわかる。その調査によると、日本は起業活動自体が世界で最も低い国の1つであるだけでなく、起業に影響する諸要因、起業リスクの知覚（失敗のおそれ）、起業のスキル、起業機会を見つける能力、起業家への敬意、社会文化的価値観などでも世界で最も低位の国であることが示されている。起業活動を活性化し、起業家を輩出させるために、政府・経済団体・大学などが近年さまざまな施策を講じているが、結果は芳しくない。近年のわが国の起業率は低下傾向にあり、起業率が廃業率を下回るという事態が続いている。人口だけでなく、企業の「少子化」も憂うべき状態にあるといえよう。このノートでは起業家と彼らに仕えた専門的 15 経営者の面接調査からできるだけ生の声を伝え、起業家の実像に迫りたいと思う。

20

筆者は2002年から、流通・サービス業を中心とした起業家の面接調査を行ってきたが、これまでインタビューした起業家のリストは表1に示すとおりである。ここで起業家 (Entrepreneur) とは「自ら新しい事業を起こし、何らかの新規性（イノベーティブネス）によって経済価値を実現し、成長を志向している事業を指揮する人」と定義しておこう。 25 Entrepreneurshipは「起業家精神」と訳されるが、それは起業家の「精神」だけではなく「行動」も意味する言葉として用いる。専門的経営者（Professional manager）とは「当該企業の株式の目だった所有はないが、高い学歴あるいは／また長期の実務経験をとおして獲得した一般的経営能力（特定企業に限定されない経営能力）をもって経営の任に当たっている人」である。面接した起業家20名の内訳は男性15名、女性5名、本社所在地は東京 30 6、九州5、関西4、四国2、北海道、香港、アメリカ各1である。社歴の古いロイヤルと総合メディカルが東証1部、はせがわが大証2部、ベニハナは米国NASDAQに上場しており、